

SNC-VM772R

リリースノート

Ver.1.0.2

2015/9/24

Sony Corporation

変更履歴

#	リリース日	バージョン	主な変更内容及び、コメント
1	2015/07/09	1.0.0	VMS インテグレーション用先行リリース
2	2015/09/24	1.0.2	出荷用ファームリリース

1. 本リリースバージョンについて

1.1 全般について

本リリースバージョンは 1.0.2 になります

対象モデル: SNC-VM772R

1.2 ソフトウェアバージョンアップ方法について

カメラのソフトウェアを本バージョンにバージョンアップするには SNC toolbox V.1.4.3 以降をお使いください。バージョンアップ手順につきましてはアプリケーションガイドをご覧ください

1.3 動作環境について

カメラの映像を見たり、制御したりするコンピューターには、次の動作環境が必要です。

- OS

Microsoft Windows 7(32bit 版、64 bit 版)

Microsoft Windows 8 Pro(32bit 版、64 bit 版)

Microsoft Windows 8.1 Pro(32bit 版、64 bit 版)

動作検証済みエディション:

Windows 7 : Ultimate、Professional

Windows 8 : Pro

Windows 8.1 : Pro

Microsoft DirectX 9.0c 以上

- Web ブラウザ

Microsoft Internet Explorer Ver. 8.0、Ver. 9.0、Ver.10.0、Ver 11.0

Firefox Ver.29.0(プラグインフリービューアーのみ対応)

Safari Ver.5.34(プラグインフリービューアーのみ対応)

Google Chrome Ver.39.0 (プラグインフリービューアーのみ対応)

- CPU

Intel Core i7、3.4 GHz 以上

- メモリー

8GB 以上

- ディスプレイ

3840x2160画素以上

- グラフィックボード

4K/H.264 30fpsのStreamingを表示する場合、以下の動作確認済みのグラフィックボードと同等以上のグラフィックボードをお使いください

・動作確認済みグラフィックボード

– NVIDIA K620

– Geforce GTX960

1.4 互換性について

本バージョンは、SNC-VM772R Ver1.0.0 で提供した機能に関して CGI コマンド、RTSP その他のネットワークプロトコル、ストリーミングに関するデータフォーマットにおける変更はありません。外部接続機器との相互接続性に対して SNC-VM772R Ver1.0.0 との互換性があります。

2. 機能制限について

2.1 ビデオ周波数設定とモニタリフレッシュレート設定

ActiveXViewer では 4K の Streaming 画像をなめらかに表示するために Direct2D を使用しています。そのため画像を滑らかに表示するため、ビデオ周波数と PC モニタのリフレッシュレートの周波数を合わせてお使いください。(ビデオ周波数 60[Hz]、50[Hz]の設定に合わせて、それぞれ PC モニタのリフレッシュレートを 60[Hz]、50[Hz]に合わせる必要があります)

2.2 Evidence Shot モード Image1 の Edge Storage 記録について

Evidence Shot モード Image1 (Motion JPEG) の記録ビットレートは画質設定によらず Edge Storage の保証レート (8Mbps) を超えることがあります。そのため Evidence Shot モード Image1 の Edge Storage への記録は Edge Storage 動画記録を設定することは可能ですが Edge Storage 静止画記録を利用ください。設定する際にはご注意ください

2.3 ActiveXViewer 表示する際の PC 設定について

PC のディスプレイ設定を拡大設定 (例、125%、150% など) にしていると、ActiveXViewer のライブ画面の一部が表示されないことがあります。画像をすべて表示させるためには PC のディスプレイ設定を 100% にしてください

【PC のディスプレイ設定方法】

- ① コントロールパネルを開き、すべてのコントロールパネル項目を表示する
- ② コントロールパネル項目からディスプレイを選択してクリックする
- ③ ディスプレイ設定の 100% をチェックして適用を押す

デフォルトは 100% になっていますので通常は設定の必要はありませんが、100% 以外の設定にしている場合に上の手順で再設定してください

2.4 User/Password のチェック機能について

“&” を User、Password に入力すると “不正なパラメータです” と警告を表示しますが、その他の禁止文字列 (“,” (カンマ)、“#” (シャープ)、“ ” (スペース)、“:” (コロン)) を入力しても警告表示がでませんのでご注意ください。

2.5 ピクチャプロファイルの切り替え設定について

「イベント発生時の設定」のスケジュール設定は、次のイベント発生条件が発生した場合に有効になります。例えば、イベント発生条件になる期間中にイベント発生時の設定をしても即時に設定が反映されず、次に条件と合致したときに設定が反映されます

2.6 表示レイテンシについて

ActiveXViewer で FHD 以下の Streaming を表示させる場合、ハードウェアアクセラレーションを無効にすると表示のレイテンシが短縮できます。(4K の Streaming 表示に対してハードウェアアクセラレーションの処理が有効になりますので FHD 以下のサイズに対してハードウェアアクセラレーションを無効にして画質に対する影響はありません)

2.7 ワイドダイナミックレンジ(View-DR)機能が使用できる出力モードについて

現在の出力モードに関わらず Web UI から Wide Dynamic Range (View-DR) の ON/OFF 設定することは可能ですが、機能が有効になる出力モードは 4K マルチストリーミングになります。設定する際にはご注意ください。

2.8 SD OFF スイッチ押下後の Edge Storage 記録について

Edge Storage 動画の録画開始ボタンを ON、あるいはスケジュールタブ/Edge Storage タブ/Edge Storage 動画-「常時」のチェックボックスを ON にして Edge Storage 記録中に SD OFF スイッチを押下後、SD カードを再挿入し Edge Storage 記録を行う場合には録画開始設定を再度行ってください。

3. 既知の問題点について

3.1 H264 Profile での無効な選択肢の表示について

画像サイズが 4K (3840x2160、2880x2160) の場合、H264 プロファイルは High に固定されます。4K のアスペクト比が 4:3 (画像サイズ 2880x2160) にすると H264 プロファイルの選択肢に Main が表示されますが設定は High になりますのでご注意ください。

3.2 ピクチャープロファイルの切り替え条件

ピクチャープロファイルの切り替え条件をセンサー入力以外から「センサー入力」に変更するとセンサー入力のプルダウンメニューに「LIGHT SENSOR」が表示されますが、選択はされていませんので「センサー1」か「センサー2」のどちらかを選択してください。

3.3 B ピクチャ有効で表示がカクつく

ActiveXViewer にて Streaming 表示する場合、B ピクチャを有効にするとスムーズに映像が表示されないことがあります。その場合は、B ピクチャを無効の設定を行って ActiveXViewer で表示してください。

3.4 Day/Night 切り替え注意文の誤り

Day/Night タブに表示される注意文に誤りがありますので御注意ください。(赤字部分)

◇日本語

誤) 「**画質タブ**内の露出モードがフルオート, アイリス優先またはシャッター優先のとき、自動の設定が有効になります」

正) 「**画像タブ**内の露出モードがフルオート, アイリス優先またはシャッター優先のとき、自動の設定が有効になります」

◇英語

誤) 「When the exposure mode in the **image quality tab** is set to Full auto, Iris priority, or Shutter priority, their auto settings are enabled.」

正) 「When the exposure mode in the **picture tab** is set to Full auto, Iris priority, or Shutter priority, their auto settings are enabled.」

3.5 RTP/RTSP over HTTP 設定時の不安定動作

ネットワークスイッチの故障などでネットワークインタフェースの Link Down から Link Up に切替るタイミングで RTP/RTSP over HTTP Streaming の再接続が発生すると稀にカメラとの通信ができなくなることがあります。(RTP/RTSP over HTTP 以外で Streaming 接続する場合には発生しま

せん)

3.6 4K Multi 出力モードの制約について

出力モードを 4K マルチストリーミングに設定後、映像 1 のコーデック設定のみを H.264 にし Edge Storage 記録もしくは静止画取得をすると、稀にカメラが再起動することがあります。出力モードを 4K マルチストリーミングに設定し、Edge Storage 記録もしくは静止画像を取得する場合には、映像 3、4 のコーデック設定を H.264、スーパーインポーズをオンしてください。

3.7 スーパーインポーズのタイプ: イベント表示の制約について

スーパーインポーズのフォントが中/小/自動に設定してタイプをイベントに設定したときに稀にカメラが再起動することがあります。(スーパーインポーズのタイプをイベントにする場合、フォントサイズを大にすれば症状は発生いたしません)

3.8 Video Capability の問い合わせについて

Video Capability の CapableBitrate<n>の問い合わせをする場合、target=All で問い合わせをすると VBR Bitrate の最大値で制限をかけた値を返してしまうため、target=BitRate<n>を使用してください。